

# 庁議の概要

開催日 平成 21 年 9 月 15 日 (火)

## ◎項 目

- 1 各部局等の動向について【各部局等】
- 2 その他

## ◎内 容

- 1 各部局等の動向について【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布の上、各部局等より概要説明を行った。

- 2 その他

### 【主な意見】

(知事)

- ・高知県は衆議院の与党議員がいないということが取り上げられるが、現実問題として「衆議院の与党議員がいないから何々をやらない」といった理屈は国民に対して通らない。また、強力な野党議員がいるということもいろんな意味で非常に強みになることであるし、本県には与党議員が参議院に 1 名、統一会派を組んでいる方が 1 名いらっしゃる。動揺せず、冷静な対応をお願いしたい。
- ・今回は、政権が交代したため、より劇的ではあるが、これまでの内閣が替わった場合と同様に、いろんな形で対東京のパイプづくりに努めていかなければならない。新政権に対して今あるパイプを大切にしながら新しいパイプを探していく必要がある。
- ・今後、新政権が脱官僚依存をしたとしても、(政府予算の) 張り付けまで個々の政治家がすべて行っていくのだろうか(そうではないのではないか)。大切なことは、引き続き霞ヶ関に対して理屈をきちんと訴え、理屈負けしないことである。また、それは政府与党の一元化が強まれば強まるほど、より大切になると思っている。従来から行ってはきているが、理屈をしっかりと練り上げて対外的に訴えていく姿勢に留意してほしい。理屈がきちんと通っており、世の中の方が皆そのとおりでと思うことであれば、民主主義(の国)であるので、国会議員の構成がどうであろうが当然通るはずである。
- ・産業振興計画については、フォローアップ委員会の専門部会が今日から始まるが、(計画) 全体としては、順調に進んでいて、特に県外から引きが出てくるようになってきたことが非常によい流れだと思っている。引き続き、頑張ってもらいたい。